

令和 6 年度（秋期） 大学院国際文化研究科
博士前期課程 入学試験
日本語科目

受験番号	
氏名	

問題Ⅰ～Ⅳにつきましては、
著作権処理等の都合により公表しておりません。

問題Ⅰ～Ⅳにつきましては、
著作権処理等の都合により公表しておりません。

問題Ⅴ. 次の文章を読み、あなたの考えを書きなさい。尚、横書きで書くこと。(35点)

【出典】津田幸男『侵略する英語 反撃する日本語 美しい文化をどう守るか』PHP 研究所 1996 年、尚、一部改訂。

精神の植民地化という「内面支配」は、英語という言語的側面のみにとどまってはいない。いま、私たちの生活全般にこの精神の植民地化現象は広がっているといっていだろう。英語優先の構造をもとにして、欧米、とくにアメリカはさまざまな「文化情報」—テレビ、ビデオ、音楽、出版、娯楽、スーパーマーケット等—の先進国であり「輸出国」になっている。そして、これらの欧米からの「生活・文化情報」は世界中の人々の生活と意識の中にまことしやかにソフトに入りこんで、その精神文化を欧米的なものに塗りかえてきている。欧米からの「生活・文化情報」は私たちの生活と文化と意識をトータルに変えて文化の主体性を「やさしく」奪ってしまう大きな影響力を有しているといえる。

この大きな影響力によって、世界文化はいま、一元的の方向に着実に歩み続けているように見える。とくに欧米諸国の中でも最大の情報先進国であるアメリカ文化への一元化の方向付けが、アメリカが所有する巨大なマス・メディア産業、ディズニーに代表される娯楽文化産業の世界市場への拡大により、進められていると考えられる。

世界文化が、アメリカを中心とする情報先進国の生活文化情報によって支配され、影響さ

れ、変容を受け、文化の一元化が生ずることを「柔らかな文化支配」ととらえることができる。（中略）

私たちの生活空間を占めているものの多くは、数十年前には存在しなかったものである。たとえば、ファミリーレストラン、ファースト・フード・レストラン、テーマ・パーク、コンビニ等。私が初めてアメリカに行った1970年、マクドナルドやケンタッキー・フライドチキンで食事をするのが、とてもアメリカ的で、大きな刺激になった。しかし、現在これ等のチェーン店は、日本人の日常生活の一部と化した。

このことをもって、日本はアメリカに文化支配を被っているとは単純には言い難い。しかし、町の風景は変わったし、人々の「食」に関する意識や態度への影響は否定できないだろう。これらの文化商品が日常性を帯び、生活様式の一部として存在し、人々の味覚や嗜好を知らず知らずのうちに操作していると考えことは可能なのである。

このように考えると、アメリカを中心とする多国籍企業が世界中に流通させている「文化・情報・娯楽商品」は、それを受け取る者の生活全体に意識的あるいは無意識的に影響を与え、ある特定の生活様式、意識形態に一元化していくように方向付けるような力を有している、といってよいだろう。

軍事支配や政治支配と比べて、文化支配は、いわば「ソフト・コントロール（柔らかな支配）」といえる。軍事・政治支配は「ハード・コントロール」であり、力づくで無理矢理に押し付けるものであり、価値・思想の押し付けがあり、精神分析的な比喩を使うと、「父性的」な押し付けがましさがある。それゆえ「ハード・コントロール」は強い抵抗に遭うことが多い。

それとは対照的に「ソフト・コントロール」の文化支配は、欲望充足を目的としており、消費者としてその存在を規定されている人々の欲求が満たされるということを中心に企業活動が展開され、人々は「個」の存在から「消費者」という顔のない存在へとその存在意義が変えられるのである。

文化支配は、人々の欲求を充足するという特徴において、現実的であり、精神分析の比喩を用いると、「母性的」な支配といえる。母親のように現実的欲求を満たすので、支配を感じさせない支配といってよいだろう。（中略）

消費者たちは、「母性的文化支配」の中では、文化的に依存し、自分たちの前に提示された文化商品と文化的枠組みに取り込まれながら、生きていくことになるのである。彼らはディズニーランドや映画、マドンナやマイケル・ジャクソンという次から次へと出される商品を消費することを飽くことなく続ける生活を自ら進んで送るのである。

問題VI. エドワード・サイードは以下のように述べている。

かつて、スティーヴン・ディーダラスが、知識人としての責務はいかなる権力にも権威にも奉仕しないことであるといったのけた、いまから百年ほどまえとは隔世の感がある。
(エドワード・W・サイード著、大橋洋一訳『知識人とは何か』平凡社 1998 年)

この言葉の真意とあなたの考えを書きなさい。尚、横書きで書くこと。(35 点)

令和6年度(秋期) 大学院国際文化研究科
博士前期課程 入学試験
専門科目

受験番号	
氏名	

問題は全部で4問ある。A群から1問を選び、B群から1問を選び、計2問について解答せよ。解答用紙には問題番号も書くこと。

— A 群 (50 点) —

問題番号【A-1】

満洲映画協会の設立過程とその目的を論じよ。

問題番号【A-2】

日本と中国における満洲映画協会の先行研究について論じよ。

— B 群 (50 点) —

問題番号【B-1】

李香蘭の生涯を論じよ。

問題番号【B-2】

李香蘭が出演した映画と「東亜」の情報源としての視点から論じよ。

令和6年度 九州産業大学大学院入学試験問題・解答用紙（秋期）

国際文化研究科 国際文化専攻 国際文化研究分野 博士前期課程

入試区分 外国人

〔問題1〕 次の10項目のうち、5個選んで簡潔に説明しなさい

- ①京派・海派 ②増田渉 ③傷痕文学 ④創造社 ⑤郁达夫
⑥泰戈尔 ⑦『伤逝』 ⑧沈从文 ⑨莫言 ⑩『語絲』

〔問題2〕 『阿Q正伝』のあらすじとあなたの研究計画を述べなさい

試験 科目	中国語文学
----------	-------

受験番号	
------	--

評点	
----	--

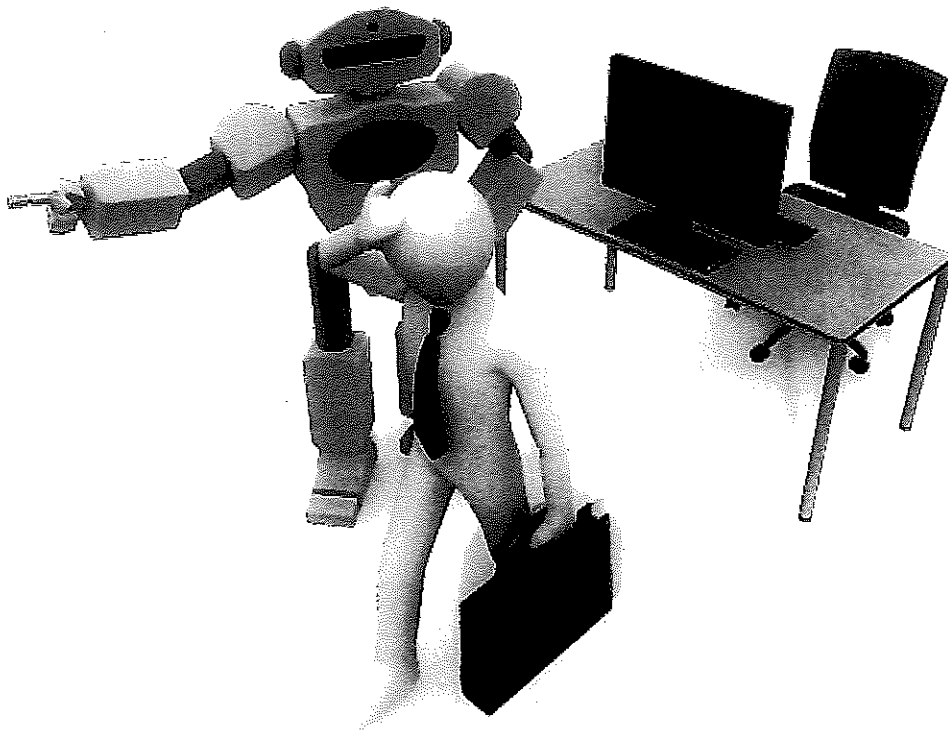
令和 6 年度 大学院国際文化研究科【春期】入学試験

日本語科目 問題用紙 入試区分 外国人留学生

受験番号	
氏名	

問題Ⅰ、Ⅱにつきましては、
著作権処理等の都合により公表しておりません。

問題Ⅲ. 下の画像の状況を説明し、それについてあなたが思ったことを書きなさい。尚、横書きで書くこと。また、書ききれない場合、同じ用紙の裏面に書いてください。その場合、「裏に続く」等記入し裏面に書いたことがわかるようにしてください。(35点)。



問題Ⅳ. 次の文章を読み、あなたの考えを書きなさい。尚、横書きで書くこと。また、書ききれない場合、同じ用紙の裏面に書いてください。その場合、「裏に続く」等記入し裏面に書いたことがわかるようにしてください。(45 点)

【出典】田中寛『戦争記憶と歴史認識 未決の戦争責任・戦後責任論のために』私家版 2010 年、尚、一部改訂。

数年前だったと思うが、たまたま書店で立ち読みしていた私は一冊の雑誌の表紙に目を奪われた。確か「今こそ中国東北部へ」というテーマで、経済不況を打開しようとする内容の特集だった。一瞬、私は目を疑った。タイムカプセルに乗って過去に舞い降りたのではないかと、という錯覚にとらわれたのである。閉塞する日本社会に嫌気がさし、海外移住を目指す心情は現代に限ったことではないが、国策的な産業指標として標榜されるとなると、ことは穏やかな議論ではすまなくなる。歴史は繰り返すという。またあの関東大震災クラスの大地震があり、地球温暖化によって農作物が壊滅的打撃を受け、国民が困窮の極みに立たされたとき、かつての満蒙への夢が再燃することはないだろうか。荒唐無稽なことと簡単に考えてはいけませんが、日本企業の生産拠点が廉価な人件費を求めて日本国内から中国に進出しつつある現実を考えると、すぐに「移動」は始まっているのかもしれない。ちなみに日本の飲食業の落ち込みはここ数年、急速度に進んでいるという。経済の停滞は日本人の消費能力を滞らせ、大手のチェーン店でさえ国内需要はこれ以上の消費は望めないと見ている。視線は当然、隣国に向けられる。これらは一例だが、移民的移動は形を変えてすでに始まっているともいえよう。

一方、日本は慢性的な労働力不足から海外から労働力を輸入しようという動きも顕著になっている。ある地方農家では中国から研修生を招き、労働力に期待を寄せている。介護ではインドネシアからの人的供給が現実的な課題となってきた。この事実とバランスをとるわけでもないが、日本人のこれから海外に出かけて行く機会が多くなることを考えれば、かつて国策として移民の歴史を刻んだ満蒙開拓の事実を考へてみることは重要な作業であろう。外へ出ていくのであれ外から迎えるのであれ、今後さらに日本が国際的な視野で異民族、異文化間接触、および対外的戦略を円滑に思考しうるのかとなると、歴史に学ぶべき事柄はなお多い。

今、日本の農業は危機に瀕している。厳しい相続税によって、田畑を維持できなくなった近郊農民は、土地を手放し、その跡地にはマンションや分譲住宅が建てられ、駐車場がつくられる。むろん近郊だけではない。農業従事者は高齢化が進み、農業人口は激減する。外来農作物に依存し、食の多様化も進むうち、日本ではもう農業ができなくなるのでは、との懸念もある。そうなる、食をどこに求めるか、ということになる。21 世紀の後半には確実に食料備蓄、水の供給をめぐる紛争が世界各地で発生すると言われているが、日本もその渦中に組み込まれるであろう。危機感はないと誰が保障できるだろうか。

構造的な不況が日本列島を覆う状況になると、日本はかつての南進論、北進論の遺産に再び目をむけはじめるのではないか。そういう日本的情念の回帰といったものが、なお日本人の

心情の奥深くに刷り込まれているような気がしてならない。四方を海に囲まれ、資源に乏しい日本の加工貿易国の宿命を打開する方策が国策となって表層化するとき、「移民」という形態をとらざるをえなかったことはいくつかの史実が証明している。だが、その一方で「移民」が「棄民」的結末を常にもたらしたこともまた歴史の悲劇であった。日本社会の少子高齢化が急速に進み、社会全体が閉塞的な気分覆われると、団塊の世代などをターゲットに「第二の人生を海外で」、などというキャッチコピーによってさまざまな民間の海外進出計画がはかれる。しかし、ほとんどが計画性のないまま進行し、また現地住民との確執を招き、所期の目的とは遠い結末を辿らざるをえなくなるケースが多々である。日本人の発想そのものを変えなければ、また同じ歴史を繰り返す。そう分かっているにもかかわらず、「体質」といったものは簡単には変えられない。歴史に学んだところでそれがどのように現代に還元されるか、という保証もない。結局はまた相似的な歴史の路線を選択するはめになってしまう。

令和6年度 大学院国際文化研究科【春期】入学試験

専門科目 問題用紙

入試区分 外国人留学生

受験番号	
氏名	

問題は全部で8問ある。A群から1問を選び、B群から1問を選び、計2問について解答せよ。
解答用紙には問題番号も書くこと。

— A群 (50点) —

問題番号【A-1】

ファン・ボイ・チャウの日本観について論じよ。

問題番号【A-2】

ファン・ボイ・チャウが執筆した『勸国民資助遊学文』の中で、日本留学についてどのように述べているか論じよ。

問題番号【A-3】

新中国が行った改革開放政策について論じよ。

問題番号【A-4】

1949年から改革開放政初期までの外国語教育の変遷について論じよ。

— B群 (50点) —

問題番号【B-1】

ファン・ボイ・チャウと梁啓超の関係について論じよ。

問題番号【B-2】

ファン・ボイ・チャウが指導した日本留学運動でベトナム人留学生は何を学び、帰国後、ベトナム社会にどのような影響を及ぼしたかを論じよ。

問題番号【B-3】

中国赴日本国留学生予備学校が行った日本語教授法について論じよ。

問題番号【B-4】

大平学校の教師研修について論じよ。

1 中国の大学生が抱える問題点について自由に述べなさい。(50点)

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

2 日本のキャリア教育について自由に述べなさい。(50点)

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

受驗番	
-----	--

評点	
----	--